

建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定 工作物の新設許可申請 <記入例>

<p>該当する欄を囲って下さい</p> <p>都市計画法第43条第1項の規定により、建築物の新築第一種特定工作物の改築用途の変更新設の許可を申請します。</p> <p>申請日を記載</p> <p>令和〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>磐田市長</p> <p>申請者の住所(アパート名)・氏名を記載して下さい</p> <p>申請地は字名まで記載 道路後退がある場合は、有効面積も記載して下さい (小数点以下第2位まで)</p> <p>許可申請者住所 磐田市国府台3-1</p> <p>氏名 磐田 太郎</p>		<p>※ 手数料欄</p> <p>手数料は許可書をお渡しする際に現金又は電子決済(PayPay)でお支払いください。</p>								
1	<p>建築物を建築しようとする土地、用途の変更をしようとする建築物の存する土地又は第一種特定工作物を新設しようとする土地の所在、地番、地目及び面積</p> <p>磐田市〇〇字〇〇番 (字名まで記入)</p> <p>地目: 〇〇</p> <p>面積: 登記(〇〇.〇〇㎡) 実測(〇〇.〇〇㎡) 有効(道路後退がある場合)</p>									
2	<p>建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物の用途</p> <table border="1"> <tr> <td>自己専用住宅</td> <td>申請</td> <td>全体</td> </tr> <tr> <td>木造2階建</td> <td>建築面積 〇〇.〇〇㎡</td> <td>〇〇.〇〇㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延床面積 〇〇.〇〇㎡</td> <td>〇〇.〇〇㎡</td> </tr> </table>	自己専用住宅	申請	全体	木造2階建	建築面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡		延床面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡
自己専用住宅	申請	全体								
木造2階建	建築面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡								
	延床面積 〇〇.〇〇㎡	〇〇.〇〇㎡								
3	<p>改築又は用途の変更をしようとする場合は、既存の建築物の用途</p> <p>用途・規模 構造を記載</p> <p>小数点以下第2位まで記載</p>									
4	<p>建築しようとする建築物、用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物が法第34条第1号から第10号まで又は令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物又は第一種特定工作物に該当するかの記載及びその理由</p> <p>令第36条第1項第3号ホ やむを得ない敷地の拡大(敷地の特例措置)</p> <p>建ぺい率 〇〇.〇〇% 容積率 〇〇.〇〇% 高さ 〇〇m</p> <p>敷地の特例の場合は、()内の記載及び左記の敷地に対して建物の建ぺい率・容積率記載。申請建物の高さの記載</p>									
5	<p>その他必要な事項</p> <p>農地法第5条許可申請中(該当する場合)</p>									
※	<p>受付番号</p> <p>年 月 日 第 号</p>									
※	<p>許可に付した条件</p>									
※	<p>許可番号</p> <p>年 月 日 第 号</p>									

- 備考
- 申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
 - ※印のある欄は記載しないこと。
 - 「その他必要な事項」の欄には、建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定工作物の新設をすることについての他の法令による許可、許可等を要する場合には、**連絡先(住所・名称・Tel・担当者名)**を記載すること。
連絡先の記載をお願いします

○申請書類チェックシート

⑤やむを得ない敷地の拡大

チェック	添付資料	明示すべき事項（注意事項）
<input type="checkbox"/>	1 申請書	申請書記入例を参照して記入してください
<input type="checkbox"/>	2 理由書	既存の敷地を拡大して建て替えをしなければならない理由 ※1
<input type="checkbox"/>	3 住民票謄本（必要に応じ添付）	新たな同居等である場合、同居予定者の住民票含む（3ヶ月以内）
<input type="checkbox"/>	4 土地の登記事項証明書 （3ヶ月以内のもの）	・現在の建築物が適法に建築された時点と現在の敷地が同一であることを確認できる登記事項証明書であること ・拡大する敷地は既存の敷地の隣地であり、申請者所有の土地
<input type="checkbox"/>	5 公図写し	・対象敷地を色枠で明示 ・道路を赤色、水路を青色で着色
<input type="checkbox"/>	6 位置図 1/2500 以上	・方位、縮尺 ・敷地の位置、形状（色枠で明示）
<input type="checkbox"/>	7 敷地現況図 1/250 以上	・方位、縮尺 ・敷地の境界（色枠で明示） ・周辺の公共施設 ・既存建築物の配置
<input type="checkbox"/>	8 既存建築物平面図（必要に応じ添付）	・残存住宅がある場合は、その間取りを確認できるもの
<input type="checkbox"/>	9 敷地求積図 1/250 以上	・三斜求積図又は座標求積図 ・セットバックを伴う場合は、各々に求積を行うこと
<input type="checkbox"/>	10 計画配置図 1/250 以上	・方位、縮尺 ・敷地境界（色枠明示） ・予定建築物の配置 ・道路の名称・幅員、水路の幅員 ・排水施設の位置、種類、形状 ・水の流れの方向 ・吐口位置、放流先の名称 ・セットバックの場合は、位置を明示
<input type="checkbox"/>	11 敷地断面図（2方向以上） 1/250 以上	・現況と計画を比較し予定建築物の位置、擁壁等の状況を明示 ・現況、計画断面を兼ねる場合、分かるように明示 例）現況のとおり、現況＝計画等
<input type="checkbox"/>	12 予定建築物各階平面図・立面図	・構造、規模（建築面積・延床面積）を明示し、建ぺい率、容積率、高さを記載する
<input type="checkbox"/>	13 建物求積図 1/250 以上	・予定建築物の建築、延床面積の算出根拠を明示
<input type="checkbox"/>	14 新旧対照表	参考様式有
<input type="checkbox"/>	15 既存建築物の証明書類	次の①又は②を証する書面 ①既存建築物が線引きの際に既に適法に建築されたことを証する以下の書面 ・建築確認通知書 ・建物登記事項証明書 ・建築年次入り固定資産税家屋評価証明 ・その他証するに足る書面 ②線引き後に適法に建築されたことを証する書面 ・都市計画法 43 条建築許可証 ・建築確認通知書 ・適合証明書
<input type="checkbox"/>	16 敷地概要書	※参考様式参照 排水先が県道の場合は県袋井土木の了承が必要
<input type="checkbox"/>	17 現況写真（2方向以上）	・道路、敷地境界、既存建築物が確認できるもの ・敷地境界を赤色で囲む
<input type="checkbox"/>	18 土地使用承諾書（必要に応じ添付）	申請者と土地所有者が異なる場合（参考様式有）
<input type="checkbox"/>	19 確約書（必要に応じ添付）	拡大する敷地が自己所有地でない場合（参考様式有）
<input type="checkbox"/>	20 農地転用許可見込証明書	・農用地除外通知書の写し ・白地の証明 等（必要に応じ添付）

※1 接道確保のための敷地の拡大の場合はその理由 （故意に接道を無くした経緯のあるものの申請は不可）

- ・申請者が 10 年以上適法 に使用している既存の専用住宅又は併用住宅の増築、建替えの際に、やむを得ない理由があり、かつ、市の土地利用上支障がないこと。
- ・拡大する敷地は、原則自己所有地で既存の敷地を含めて 300 m² 以内。
- ・接道確保のための拡大の場合は、敷地が道路に接する幅員が 4m 未満であること。

※2 敷地の特例措置の場合（敷地面積 500 m² の範囲内）

- ・建築敷地が街区の中に青地がない、又は建築敷地の境界のうち 3 辺以上が道路若しくは宅地に概ね接した土地であること。
・予定建築物の規模は建ぺい率 50% 以内、容積率 80% 以内、高さ 10m 以内。